

**ユニセフ・パネル展「子どもとエイズ」世界キャンペーン
～アグネス・チャン日本ユニセフ大使のレソト視察記録～**

世界でH I V / エイズの脅威が叫ばれ始めてから 20 年余り。この間、H I V / エイズは「おとなの問題」として捉えられ、直接・間接的に被害を受けている子どもたちには十分な関心が向けられてきませんでした。

昨年 1 年間に 53 万人もの子どもたちが H I V に感染し、そのほとんどが誕生前後のお母さんからの感染です。H I V に感染した赤ちゃんの 2 人に 1 人が、2 歳になる前に死んでいます。ユニセフは、2005 年 10 月から「子どもとエイズ」世界キャンペーンに取り組んでいます。この世界キャンペーンの一環として、アグネス・チャン大使が国民の 4 人に 1 人が H I V / エイズに罹患している（有病率世界第 3 位）と言われているアフリカのレソト王国を訪問しました。（出展：日本ユニセフ協会 H P キャンペーンサイトより）

同国で医療サービス等が最も行き届いていない東部モホトロング県ボバツィ村とその周辺で深刻な状況に置かれている女性や子どもたちの状況などを、フォトジャーナリスト新藤健一氏の写真を通して伝えます。



首都マセルにある「子どもの村」親に捨てられた子どもの施設を訪問。
H I V 陽性の孤児もいる。

【盛岡会場】

日時：2007年7月15日（日）～21日（土）

会場：盛岡市 アイーナ 4F 県民プラザ

盛岡市盛岡駅西通一丁目7-1 TEL 019-606-1717

【花巻会場】

日時：2007年7月23日（月）～29日（日）

会場：花巻市 妙円寺

花巻市愛宕町7-53 TEL 0198-23-5439

主催：(財)日本ユニセフ協会岩手県支部

〒020-0180 岩手県滝沢村土沢220-3 TEL：019-687-4460